

輝け！シン尾花沢中

第 1 1 2 号

令和 7 年

10 月 24 日

長根の山の ふもとほら 遠いゆかりの おもだかの

RS タイムで教科書を正しく読むことのできる力を！

本校の目指す生徒像「学習：夢中になって学ぶ生徒【自立した学習者】」の実現に向けて

重点④ 授業と関連付けた家庭学習の充実 「選択制家庭学習」+「ICT」+「RST」

を掲げていますが、本校の大きな課題とも捉えています。理由は、次の二つです。

理由①：1 学期学校評価では「選択制家庭学習に計画に取り組むことができた」の質問への肯定的回答は、生徒 36%、保護者 25%と低い結果でした。

理由②：9 月に実施した生徒向けのアンケート項目「学校や家庭で意欲的に夢中になって学んでいる」の肯定的回答は、6 月と比べて、1 年生は向上しているものの、2・3 年生は下降しているという結果でした。

また、第 96～98 号でも紹介しましたが、「ある概念内容・語義や処理手続きをはっきりと定めること」（※岩波国語辞典第三版）いわゆる「定義」の理解が、本校においても課題となっています。例えば、前号で紹介した数学の問題「1 から 9 までの数の中から素数をすべて選りなさい」は、全国平均よりも高かったとはいえ、正答率は 37%であり、決して喜べるものではありませんでした。「-5、0、3、4.7、9 から自然数をすべて選りなさい」など定義の理解を評価する問題が毎年出題されており、正しく定義を理解することの重要性を感じています。

「定義」は教科書に記載されています。よりいっそう、授業と関連付けた家庭学習の充実を図るために、中学校時代に、教科書を正しく読む力をつけていかなければなりません。

そこで、RS（リーディング・スキル）タイムを設定し、定義などを正しく読む力（RST では「具体例同定」）をつけるために、次のような学習活動を行う予定です。

時間帯と曜日・教科	内容
8：05～8：15 火→理科、水→社会、木→数学	・75～90 字の定義文を視写（書き写すこと）する ・指さし確認→音読→視写（1 分間）→点検・確認 の順で行う

この学習活動により、次のような効果を期待しています。

○定義を正しく理解することにより、「わかる・できる授業」とな

り、夢中になって学ぶことができるようになる

○学習の拠り所として教科書をより活用するようになり、家庭学習が充実する。

○授業でも、すぐに定義やポイントを見つけることができるようになり、じっくり考える時間を増やすことができる。…



9 月 27 日（土）の「尾花沢寺子屋」の様子です。夢中になって学ぶ尾中生（自立した学習者）の様子が見てとれます。

社会に出たときに、説明書やマニュアルを読んで理解する力は、今後一層求められます。

RS タイムへのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。【文責：校長 工藤雅史】